

2026 年度 神戸市立学校園教員採用選考試験
特別選考 「模擬授業」実施要領

神戸市教育委員会事務局
教 職 員 人 事 課

1. 模擬授業対象者 全受験者に対して、個人面接日に模擬授業を実施する。

2. 学習指導略案の作成と提出

(1) 様式 裏面の「様式例」に基づいて作成する。(★基本情報を含む)

(2) 選択教科等

試験区分	選択する教科等	指導略案
小学校教諭	小学校高学年（５・６年生）を対象とした授業とし、 教科は「国語」「算数」から選択して行う。	1 単位時間分 <u>A4 版 1 枚</u> <u>(必ず片面のみ)に</u> <u>まとめる。</u> ※小学校選択の場合は、 45 分設定 ※中・高校選択の場合は、 50 分設定
中学校・ 高等学校教諭	「出願教科」	
特別支援学校教諭	特別支援学校における集団で行う授業を設定する。 志願している校種・教科に応じて、「教科等を合わせた指導」又は 「教科別、領域別の指導」を行う。	
養護教諭	小学生又は中学生を対象とした授業とし、学年設定は自由。 教育課程上の位置付けも考えて、単元や内容等を選択して行う。	
栄養教諭	小学生を対象とした授業とし、学年設定は自由。 教育課程上の位置付けも考えて、単元や内容等を選択して行う。	

(3) 略案提出 個人面接試験会場の受付にて4部提出。

3. 模擬授業の実施

(1) 授業場面 受験者が作成した指導略案の中から、
当日面接官が指定する場面状況に応じて授業を行うものとする。

(2) 実際の時間 5分程度(説明1分・準備時間1分＋実演・質問3分程度)

(3) 留意事項

- ① 面接室へ入室後、挨拶の後に実施する。
- ② 模擬授業中は、可能な限り黒板またはホワイトボードを使用すること。
 - ・チョークは白・赤・黄、マーカーは黒・赤・青を準備予定
- ③ 授業開始の挨拶やプリント配付など、授業内容と直接関係ない行為はしない。
- ④ 教材教具の持ち込みは一切できない。
 - ・教材教具が必要な場面では、それらが「あるもの」として授業を行う。
- ⑤ 教室に子供がいるものとして、発問や説明、指示、板書等を進める。

◆学習指導略案の様式例

- (1)受験番号、選考区分、教科、名前、面接日時、学年、設定した単元の教科・領域等を**必ず記入**する。
- (2)下記の指導略案は**様式例**であり、各項目等の設定は自由。用紙の両端は**1.5cmの余白**をとる。
- (3)手書きでもパソコンでも可。モノクロ写真やイラストなど資料を縮小して貼り付けてもよい。

★基本情報				
受験番号		選考区分		教科
小、中・高、特支(小)、特支(中高)、養護、栄養のいずれかを記入。		面接日時	月	時 分
受験教科を記入。小学校、特支(小)、養護、栄養は記入不要。				
第 学年 ○○科 学				
1. 単元(題材) 名 2. 単元(題材) 目標 3. 本時の学習 (/ 時間) ① 目標 ② 過程(展開) (全 時間) 教科でない場合は、別の表記に変えること。				
※様式例に沿って、A4版1枚(必ず片面)にまとめる。				
子供の活動と内容		教師の支援と留意点		
1.				
2.		注) 実際に授業を行う場面は、当日面接官が指定する。(3分) ※ 基本的には、子供の「活動」を教師はどう「支援」するのか、また、実際に学ぶ「内容」に教師はどのように「留意」するのか、という観点で作成する。但し、別項目を設定しても可。		
3.				
4.		ここでは「4分節」としているが、あくまでも例示であるため、変更してもよい。		
【評価規準】 本時の目標が、達成されたといえる子供の学びの姿(学習状況)を記入する。 注 分節ごとの評価ではなく、1単位時間の評価規準として考える。評価の観点や方法等の記載については自由。		【評価規準】		